

第5学年-Unit5 単元名 She can run fast. He can jump high. できること (5/5時間)

1. 単元目標

- ・第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)
- ・第三者について、できることやできないことを尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。また、小文字を読むことに慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。(言語や文化に関する気付き)

2. 表現・言語材料

- Can you (sing well)? Yes, I can./ No, I can't. [I/ You/ He/ She][can/ can't] (sing well).
 ○動作(play[soccer/ badminton/ table tennis/ volleyball/ shogi/ kendama/ the recorder/ the piano], judo), ride a [bicycle/ a unicycle], swim, skate, ski, cook, run fast, jump high, sing well), he, she

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
5分	・挨拶をする ○Let's Chant(p.35) ・リズムに合わせてチャンツを言う。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・最初はゆっくりバージョンで聞き、何が聞こえたかを確認するとよい。 ・ゆっくりバージョンに慣れてくれば、速いバージョン、またはカラオケバージョンにして、十分に音声に慣れ親しませる。	デジタル教材
7分	○Let's Listen 3(p.40) ・音声を聞いてどの人物かを考え、イラストの下の()に番号を記入する。	・何度か聞かせ、聞き取れたことを言わせるとよい。 ・答え合わせの際には、単に番号を確認するのではなく、一文ごとに音声が続いて言わせるとよい。 ・解答を確認した後、さらに指導者がShe can～. She can't～.とリードして残りを言わせることで、表現への理解がより深まる。	デジタル教材
先生の紹介をしよう。			
20分 (発表 10分)	○Activity 4(p.39), 5(p.40) ・先生にインタビューしたことをもとに、その先生ができることやできないことを、自分のことも含めてスピーチをする。	・指導者によるモデルスピーチを行う。(カットアウトピクチャーの形式が望ましい。) ※カットアウトピクチャー…(B4の用紙などに広告や写真、ポスターなどを切り抜いて貼り付けたもの) ・指導者の情報2つ、自分の情報2つについてスピーチできるよう準備させる。 ・イラストには時間をかけず、あくまでもイラストはスピーチの補助であることを伝える。 ・準備ができた児童から立ってスピーチの練習を始めさせる。 ・グループで一人ずつスピーチを行う。(グループについては、いろいろな先生の紹介になるようにする。) ・友達の発表を聞く際には、聞く姿勢も大切であることを伝え、しっかり聞いた後に聞き取れたことを記入するよう伝える。 ◎第三者についてできることやできないことなどを紹介し合っている。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)<行動観察>	
5分	○全体発表	・各グループ代表者の発表を聞く。 ・前半の発表が終わったところで、よい発表について、児童と具体的に共通確認し、後半の発表につなげる。 ・友達の発表を聞く際には、聞く姿勢も大切であることを伝え、しっかり聞いた後に聞き取れたことを記入するよう伝える。	
3分	○Sounds and Letters "x"	T: Let's play "Finding words. (単語探し)" Find any words starting with /x / from the textbook within twenty seconds. (20秒以内にテキストから「x」で始まる単語を見つけましょう。) ・指導者と児童全員で行う。制限時間を短くしていくなどするとよい。 ・見つけた単語の確認をし書く。(児童が発表した単語を黒板に書く。)	ワークシート (HF Plus)
5分	・本時の活動を振り返り、記入する。挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード